

エコアクション21

環境経営レポート



第3版

2024年7月30日発行

(取組期間：2023年6月～2024年5月)

有限会社皆越電気工業



目 次

1	事業概要	_____	P1
2	環境経営方針	_____	P2
3	実施体制組織図	_____	P3
4	環境経営目標	_____	P4
5	環境経営計画	_____	P5
6	環境経営目標の実績とその評価	_____	P6
7	環境経営目標の評価による見直し	_____	P7
8	環境経営計画の取組結果とその評価による見直し	_____	P8
9	次年度環境経営計画と取組み内容	_____	P9
10	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の 結果並びに違反、訴訟等の有無	_____	P10
11	その他	_____	P11
12	代表者による全体の評価と見直しの結果	_____	P12

1.事業概要

- (1) 事業者名 : 有限会社皆越電気工業
- (2) 代表者名 : 取締役社長 皆越 博文
- (3) 所在地 : 〒868-0422 熊本県球磨郡あさぎり町上北2356-42
本 社 (認証・登録の範囲の所在地)
TEL : 0966-45-1493 FAX:0966-45-0864
E-mail minagoshi-h@asagiri.jp
- (4) 環境管理責任者 : 皆越幸子
- (5) 事業内容 : 電気工事業 給排水設備工事業 空調設備工事業 水道工事業
- (6) 建設業許可番号 : 熊本県知事許可(般-2) 第5530号
建設業許可種類 : 土木工事業 舗装工事業
とび・土工工事業 水道施設工事業
電気工事業 消防施設工事業
管工事業
- (7) 事業規模 : 平成4年12月4日設立(創業 昭和39年2月)

資本金 1,000万円

	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	131,646千円	215,830千円	263,396千円
従業員数	7名	9名	10名
事業所床面積	396㎡	396㎡	396㎡

- (8) 事業年度 : 期首 6月1日 期末5月31日
- (9) 認証登録の範囲: 全社、全活動を登録の範囲とする

2.環境経営方針

有限会社皆越電気工業は、安心して暮らせる社会をつくるために住環境の整備や町づくり、省エネ、環境保護に自主的、積極的に取り組みます。

- 1) 環境経営システムの継続的改善に取り組みます。
 - ① 電力、燃料等のエネルギー使用量の削減を図り、二酸化炭素排出量を削減します。
 - ② 産業廃棄物を削減し、リサイクルの促進をします。
 - ③ 節水に努め、水使用量を削減します。
 - ④ 環境に配慮された製品、グリーン購入をします。
- 2) 環境関連法規を確認、遵守します。
- 3) 環境経営方針は、全社員に周知徹底し社外へ公開します。

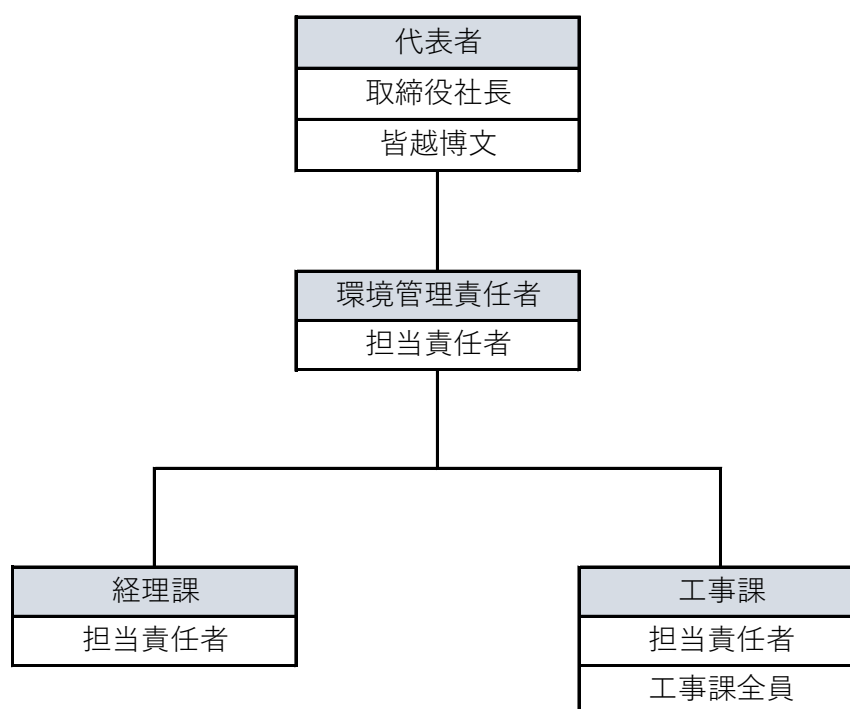
制定日 令和4年8月23日

改訂日 令和5年5月31日

有限会社皆越電気工業

取締役社長 皆越 博文

3. 実施体制組織図



役割分担表

代表者（社長）	・環境経営方針を定め、表明する。 ・環境管理責任者を任命する。 ・環境への取組みを実施するための資源を用意する。
環境管理責任者	・環境経営システムを構築し、実行し、管理をする。 ・環境経営目標、環境経営計画を作成する。 ・環境経営システムの実績を代表者に報告する。 ・環境レポート、資料、書類を作成する。
工事課	・環境経営方針、環境経営目標を全社員に周知する。 ・環境関連法規を遵守する。 ・マニフェスト伝票の管理をする。 ・教育・訓練を実施する。
経理課	・エネルギー使用量の集計をする。 ・資源等使用量を集計する。 ・廃棄物排出量を集計する。
全社員	・環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚する。 ・環境経営システムに自主的・積極的に参加する。

4. 環境経営目標

活動期間2023年6月～2024年5月

項 目	単 位	基準年 2021年度	目 標			
			2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		2021年6月～ 2022年5月	0.5%削減	1%削減	1.5%削減	2%削減
		2022年6月～ 2023年5月	2023年6月～ 2024年5月	2024年6月～ 2025年5月	2025年6月～ 2026年5月	
1.二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	33,200.29	33,034.29	32,868.29	32,702.29	32,536.28
(1)電気使用量削減	kW h	7,435.00	7,397.83	7,360.65	7,323.48	7,286.30
低圧電力	kW h	2,904.00	2,889.48	2,874.96	2,860.44	2,845.92
従量電灯B	kW h	4,531.00	4,508.35	4,485.69	4,463.04	4,440.38
(2)ガソリン使用量削減	ℓ	6,038.20	6,008.01	5,977.82	5,947.63	5,917.44
会社	ℓ	5,889.60	5,860.15	5,830.70	5,801.26	5,771.81
現場	ℓ	148.60	147.86	147.11	146.37	145.63
(3)軽油使用量削減	ℓ	6,294.00	6,262.53	6,231.06	6,199.59	6,168.12
会社	ℓ	3,265.60	3,249.27	3,232.94	3,216.62	3,200.29
現場	ℓ	3,028.40	3,013.26	2,998.12	2,982.97	2,967.83
2.廃棄物排出量の削減	kg	67,350.00	67,009.20	66,676.50	66,339.75	66,003.00
一般廃棄物排出量の削減	kg	-	160.00	158.40	157.60	156.80
産業廃棄物排出量の削減	kg	67,190.00	66,854.05	66,518.10	66,182.15	65,846.20
3.水使用量の削減	m³	109	108.46	107.91	107.37	106.82
4.グリーン購入への取組み	%	10%	10.50%	20%	25.00%	30%
5.地域貢献活動の推進	回	0回	1回	2回	2回	3回
6.ゼロ災害への取組み	-	-	安全取組実施	安全取組実施	安全取組実施	

備考

- 購入電力の二酸化炭素排出係数は0.391kg-CO2/kWh(九州電力2021年度・調整後)を使用した。
- グリーン購入はアスクル購入の割合(グリーン購入金額と全体購入金額)
- 灯油は使用量が少ないため、目標には設定せず、日常活動で管理します。
CO2排出量には、灯油も含めて管理していきます。
- 基準年の一般廃棄物排出量が把握できていなかったため、一般廃棄物は2022年度実績で現状を把握し、2023年度から目標を設定する。

5. 環境経営計画

1.二酸化炭素排出量の削減

活動項目		部門（責任者）	日程
電気使用量 削減	こまめな消灯（使用時のみの点灯）	皆越	通年
	環境省推奨の冷暖房設定温度を実行する。（夏28℃冬20℃）		
	未使用機器の電源はOFFにする		
	社内LED照明への取替		実行済
化石燃料 使用量削減	アイドリングストップ 現場への車両の乗合を実行する	山下	通年
CO2削減	工期短縮による車両のCO2削減 ハイブリッド車導入によるCO2削減	社長	通年

2.廃棄物排出量削減

活動項目		部門（責任者）	日程
一般廃棄物	ゴミ分別で資源ゴミのリサイクルに取り組む 整理整頓で在庫確認をし、無駄な購入をなくして、ゴミの発生をなくす	皆越	通年
産業廃棄物	産業廃棄物の分別、適正な管理をし、産業廃棄物置き場にため込まず、定期的に処分する 廃棄物を出さない工夫をする	山下	

3.水資源量削減

活動項目		部門（責任者）	日程
節水表示による呼びかけ、節水コマ使用による使用量減 自動水栓に取替可能な個所の取替による節水 水使用量を把握し、定期的に漏水の点検をする		皆越	通年 R4年度～

4.グリーン購入への取組み

活動項目		部門（責任者）	日程
商品の購入時は環境負荷の小さいものを選ぶ 再生商品の取入れ リサイクル可能な商品の購入		宮元	通年

5.地域貢献活動の推進

活動項目		部門（責任者）	日程
地域の防災協力会に所属しているので率先して活動します。 地域活動への参加 自社での地域奉仕への取組み		社長	通年 R4年度～

6.ゼロ災害への取組み

活動項目		部門（責任者）	日程
リスクアセスメントの実施でゼロ災害を目指し、安全安心、安全第一、健康第一に取り組む		社長	通年

6. 環境経営目標の実績とその評価

活動期間2023年6月～2024年5月

項 目	単 位	基準年 2021年度	目標	実績	評価	
			2023年度		評価の基準 ○：100%以上 △：75%以上 100%未満 ×：75%未満	
		2021年6月～ 2022年5月	1%削減			
1.二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	33,200.29	32,868.29	42,291.22	△	78%
(1)電気使用量削減	kW h	7,435.00	7,360.65	8,123.00	△	91%
低圧電力	kW h	2,904.00	2,874.96	2,257.00	○	127%
従量電灯B	kW h	4,531.00	4,485.69	5,866.00	△	76%
(2)ガソリン使用量削減	ℓ	6,038.20	5,977.82	6,756.25	△	88%
(3)軽油使用量削減	ℓ	6,294.00	6,231.06	8,929.23	×	70%
2.廃棄物排出量の削減	kg	67,350.00	66,676.50	44,660.00	○	149%
一般廃棄物排出量の削減	kg	160.00	158.40	1,636.00	×	10%
産業廃棄物排出量の削減	kg	67,190.00	66,518.10	43,024.00	○	155%
3.水使用量の削減	m ³	109	107.91	115	△	94%
4.グリーン購入への取組み	%	10%	20%	23%	○	115%
5.地域貢献活動の推進	回	0回	2回	2回	○	100%
6.ゼロ災害への取組み			安全取組実施	実施した	○	100%

備考

- 購入電力の二酸化炭素排出係数は、基準の年0.391kg-CO2/kWh(九州電力2021年度・調整後)を使用。2023年度実績は、0.406kgCO2/ kWh(九州電力2022年度)を使用しました。
- 社用車と現場使用車との区別がしにくいので、ガソリンと軽油でまとめました。
軽油の使用量の評価は×になっていますが、水道工事で重機の使用量が増えたためで
けして悪い評価ではありません。(すべての重機が排出ガス基準適合車です)
- グリーン購入は、アスクル購入の割合(グリーン購入金額と全体購入金額)
- 灯油は使用量が少ないため、目標には設定せず、日常活動で管理します。
CO2排出量には、灯油も含めて管理していきます。
- 基準年の一般廃棄物排出量が把握できていなかったため、一般廃棄物は2022年度実績で現状を把握し、2023年度から目標を設定しました。

7.環境経営目標の評価による見直し

活動期間2023年6月～2024年5月

項 目	評価	評価の分析と見直し
1.二酸化炭素排出量の削減	△	CO2排出量は目標値、基準年からも増加。
(1)電気使用量削減	△	社員の意識を高め、削減に取り組む。
低圧電力	○	低圧電力は、エアコンの使用推奨温度を守り
従量電灯B	△	使用したことにより、減少。従量電灯Bは使用
		が増えているので、こまめな消灯、節電で電力
		削減に取り組む。
(2)ガソリン使用量削減	△	ガソリン使用は増加している。会社と現場との
		区別が難しく、ガソリンと軽油で分けました。
(3)軽油使用量削減	×	軽油の使用量は増加。水道工事が前年度の約2倍。
		基準年の4倍の完工高になり、重機の軽油使用量も
		増加。工事全体の売上は基準年の2倍になり、
		これは現場の社員の頑張りのおかげで、軽油の
		使用量は増えたがよい結果になっている。
		できる範囲で削減に取り組む。
2.廃棄物排出量の削減	○	基準年の一般廃棄物は把握ができていなかったため
一般廃棄物排出量の削減	×	前年度を基準年とした。
産業廃棄物排出量の削減	○	基準年から目標値をだしたが、大きくオーバー
		したので、仕訳に問題があったと判断した。
		産業廃棄物は削減、廃棄物全体も削減できたので
		引き続きゴミの分別の徹底、管理、処分を行って
		いく。
3.水使用量の削減	△	水使用量は削減できなかった。
		会社の緑化も進めているので、散水等による使用
		が増えたのが要因とみている。節水表示による
		呼びかけを引き続き行う。
4.グリーン購入への取り組み	○	目標値達成、今後も環境負荷の小さいものを選ぶ。
5.地域貢献活動の推進	○	会社独自のボランティア活動を行った。
		今後も地域貢献に取り組んでいく。
6.ゼロ災害への取り組み	○	職場に潜在するあらゆる危険性を見つけていく。

評価の基準 ○：100%以上 △：75%以上100%未満 ×：75%未満

8. 環境経営計画の取組結果とその評価による見直し

1. 二酸化炭素排出量の削減 活動期間2023年6月～2024年5月

活動項目		評価	分析と見直し
電気使用量削減	こまめな消灯（使用時のみの点灯） 冷暖房設定温度、夏28℃冬20℃ 未使用機器の電源はOFFにする 社内LED照明への取替	○	従量電灯使用削減に取り組む 低圧電力使用削減の維持 取組みは実施できたが、目標達成には至らなかった。引き続き節電を呼びかけていく。
化石燃料使用量削減	アイドリングストップ 現場への車両の乗合を実行する	○	取組みは実施できたが、目標達成には至らなかった。車両の乗合を見直しエコドライブに努める。
CO2削減	工期短縮による車両のCO2削減 ハイブリッド車導入によるCO2削減	△	取組みはできているが、結果につながっていないので、社員の周知徹底に取り組む

2. 廃棄物排出量削減

活動項目		評価	分析と見直し
一般廃棄物	ゴミ分別で資源ゴミのリサイクルに取り組む 整理整頓で在庫確認をし、無駄な購入をなくして、ゴミの発生をなくす。	○	取組みは実施できた。引き続き、分別適正な管理、処分を徹底する。
産業廃棄物	産業廃棄物の分別、適正な管理をし、産業廃棄物置場にため込まず、定期的に処分をする。 廃棄物を出さない工夫をする。	○	目標達成。産業廃棄物置場には看板を設置し、より細かい分別をすることで廃棄物の減少につながった。

3. 水使用量削減

活動項目		評価	分析と見直し
節水表示による呼びかけ、節水コマ使用量減 自動水栓に取替可能な個所の取替による節水 水使用量を把握し、定期的に漏水の点検をする		△	取組みは実施できたが、目標達成には至らなかった。節水の呼びかけを、より一層行う。

4. グリーン購入への取組み

活動項目		評価	分析と見直し
商品の購入時は、環境負荷の小さいものを選ぶ 再生商品の取入れ		○	目標達成。引き続き商品の購入は環境負荷の小さいものを選ぶ

5. 地域貢献活動の推進

活動項目		評価	分析と見直し
地域の防災協力会に所属し、消防団協力事業所への登録 地域活動への参加 自社での地域奉仕への取組み		○	目標達成。引き続き防災協力会、消防団活動、地域活動等への参加。 ボランティア活動の実施を行う。

6. ゼロ災害への取組み

活動項目		評価	分析と見直し
安全安心、安全第一、健康第一で取り組む		○	目標達成。ゼロ災害に取り組む。

○：実施できた △：十分とは言えなかった ×：不十分であった

9. 次年度環境経営計画と取組内容

取組み期間2024年6月～2025年5月

活動項目		部門（責任者）	
CO2 排出量削減	電力使用量削減	環境管理責任者	
	こまめな消灯（使用時のみの点灯） 未使用機器の電源はOFFにする 冷暖房設定温度、夏28℃冬20℃ エアコンフィルターの清掃		
	燃料使用量削減		工事課責任者
	アイドリングストップ エコドライブの実施 工期短縮による車両のCO2削減 ハイブリッド車導入によるCO2削減 排出ガス対策建設機械の使用 車両点検・清掃で燃費の向上		
廃棄物 排出量削減	一般廃棄物排出量削減	経理課責任者	
	ゴミ分別で資源ゴミのリサイクルに取り組む コピーの際は設定を確認し、コピーミスをなくす 整理整頓、在庫確認で無駄な購入をなくす		
	産業廃棄物	工事課責任者	
	廃棄物の分別を徹底、リサイクルに取り組む 廃棄物はため込まず、適正な管理、処分をする マニフェスト伝票の管理		
水使用量削減		経理課責任者	
 節水表示による呼びかけ、節水コマ使用量減 水使用量を把握し、定期的に漏水の点検をする 毎月の水使用量をグラフ化公表し、社員の意識を高める			
グリーン購入への取組み		経理課責任者	
 商品の購入時は環境負荷の小さいものを選ぶ 再生商品の取入れ リサイクル可能な商品の購入			
社会貢献活動の推進		代表者	
 地域の防災協力会に所属、活動する 地域活動への参加 自社での地域奉仕への取組み 消防団活動への協力			
ゼロ災害への取組み		代表者	
安全安心、安全第一、健康第一で取り組む			

9

10.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

並びに違反、訴訟等の有無

確認日 令和6年6月30日

環境関連法規の名称	遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬、処分 マニフェスト伝票の管理	○
建設リサイクル法	発注者への計画等説明書と完了報告書 下請負者への告知書	○
騒音規制法	対象特定建設作業、特定施設の届出 規制値の遵守	○
振動規制法	対象特定建設作業、特定施設の届出 規制値の遵守	○
水質汚濁防止法	事業所、現場での排水は公共用水域及び地下水の 水質汚濁の防止に努める	○
下水道法	公共下水道管理者に工事申請書の届出	○
浄化槽法	浄化槽工事業の届出 設置届の提出	○
フロン排出抑制法	定期点検の実施 廃棄時の適正処理	○
消防法	少量危険物保管の貯蔵、取扱の基準	○
労働安全衛生法	安全衛生教育への参加 健康診断の実施	○
道路法	公共道路を使用する場合、警察署に道路占用許可の 申請	○
オフロード法	バックホウの排出ガス基準の適合証明	○
熊本県生活環境保全 等に関する条例	排出ガス削減のため、負荷がより少ない自動車への 促進	○

令和6年6月30日に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認、評価した結果、違反はありませんでした。また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの苦情、訴訟もありませんでした。

11.その他

(1) ボランティア活動

社会福祉法人早苗福祉会、あさぎりこども園

電気設備、水道施設の点検、照明器具の清掃等を行いました。

今後も地域貢献活動に取り組めます。



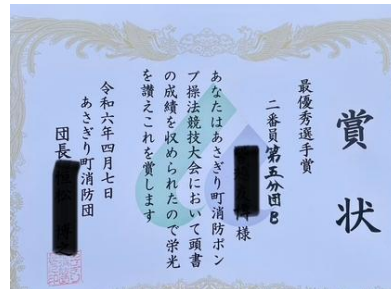
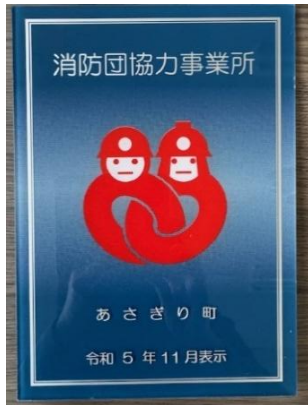
吉井権現公園神社の給水工事及び清掃活動



11.その他

(1) 地域貢献活動

あさぎり町消防団協力事業所の交付



社員の中には消防団に所属し、大会では最優秀選手に選ばれる等活躍している。これからも消防団活動に協力し、活動しやすい環境を作っていきます。

(2) 安全訓練(熱中症対策)

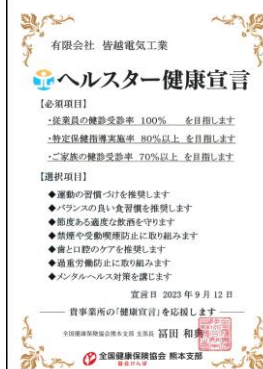


(3) エコアクション21の従業員講習会

エコアクション21の目的、取組みについて指導



(3) その他の取組み



12.代表者による全体の評価と見直しの結果

エコアクション21認証から1年が経過しました。

あさぎり町でも「ゼロカーボンシティ」を表明。

「若いまち、豊かまち、そして幸せ感じるあさぎり町」を実現し、私たちのかけがえのない故郷を未来の子どもたちにより良い姿でつないでいくため、町民や事業者など多様な主体と連携し、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指すことを宣言しています。

当社は「安心して暮らせる社会を作るために住環境の整備や町づくり、省エネ環境保護に自主的、積極的に取り組みます。」を方針に、社員が誇れる企業を目指しています。これからはあさぎり町と連携し、環境への配慮をより一層していきたいと思っています。しかしながら今年度C O2の削減は

目標達成にはなりませんでした。化石燃料の削減は難しく、

（化石燃料の減少は仕事の減少とも言える）電力使用量や水使用の見直し、ペーパーレス化の実施等で、C O2削減に取り組んでいきます。

今年度は新たに、消防団協力事業所の交付を受けました。

ボランティア活動や地域活動への参加等、地域・社会貢献活動をしていきます。

環境経営方針	変更なし
環境経営目標と計画	変更なし
実施体制	変更なし

令和6年6月30日

有限会社皆越電気工業

取締役社長 皆越博文